

【2015 年度】

■国内学会：

- 1 末永達也：訪問リハビリを2年介入した脊髄小脳変性症(SCA6)者の経過～今の生活が維持できるように～. 第6回日本訪問リハビリテーション協会学術大会(大阪). 2015.5
- 2 福岡宏之：当院退院後訪問リハビリに移行した脳血管疾患の一症例 ～退院から訪問リハビリ介入3か月間のADL変化～. 第6回日本訪問リハビリテーション協会学術大会(大阪). 2015.5
- 3 中村学：脳血管障害患者の歩行再建と高次脳機能障害のかかわり.
第50回日本理学療法学術大会(東京). 2015.5
- 4 中村学：健常成人における映像傾斜と体外離脱体験(Out-of-body experience)付与が姿勢反応に及ぼす影響. 第50回日本理学療法学術大会(東京). 2015.5
- 5 澤広太：座位姿勢における体幹屈曲筋力および伸展筋力評価の妥当性と信頼性.
第50回日本理学療法学術大会(東京). 2015.5
- 6 南裕二：トイレ自立者におけるバランス能力および半側空間無視,注意機能による分類.
第49回日本作業療法学会(神戸). 2015.6
- 7 星達也：咽頭通過障害側へのアプローチにより嚥下障害が改善した Wallenberg 症候群の一例.
第16回日本言語聴覚学会(仙台). 2015.6
- 8 遠藤敦士：回復期リハビリテーションにおける脊椎圧迫骨折後患者の認知機能・心理面が退院時歩行能力におよぼす影響. 第13回日本臨床医療福祉学会(名古屋). 2015.8
- 9 中村学：映像傾斜が垂直認知能力に及ぼす影響～健常若年者と半側空間無視患者の傾向～.
第39回日本神経心理学会学術集会(札幌). 2015.9
- 10 高橋友樹：脳血管障害患者におけるバランス能力と座位での下肢荷重力の関係性について.
第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会(山梨). 2015.9
- 11 井筒隆文：アクティブバック開発の経緯と利用方法.
第11回日本シーティングシンポジウム(埼玉). 2015.11
- 12 高橋遼：早期病棟内歩行自立判定表作成の試み.
回復期リハビリテーション協会第27回研究大会 in 沖縄. 2016.2

- 13 星達也：回復期脳血管障害における経管栄養から経口摂取の可否に影響する因子。
回復期リハビリテーション協会第 27 回研究大会 in 沖縄. 2016.2
- 14 平澤津隼人：回復期脳血管障害患者における注意機能と Dynamic gait index との関連。
回復期リハビリテーション協会第 27 回研究大会 in 沖縄. 2016.2
- 15 遠藤敦士：回復期リハビリテーション病棟における脊椎圧迫骨折患者の破局的思考の特徴。
回復期リハビリテーション協会第 27 回研究大会 in 沖縄. 2016.2
- 16 遠藤敦士：健常成人における非荷重位および荷重位での中殿筋各線維の作用比較。
第 21 回日本徒手理学療法学会学術大会（神戸）. 2016.3
- 17 長原亜希：病院間連携における装具を処方した脳血管疾患患者の治療経過と歩行能力の傾向。
第 5 回脳血管障害への下肢装具カンファレンス（東京）. 2016.3
- 18 須賀文子：VE・VF 導入とチームアプローチによる摂食嚥下障害の治療比較。
回復期リハビリテーション協会第 27 回研究大会 in 沖縄. 2016.2

■論文：

原著

- 1 澤 広太, 中村 学, 手島 雅人, 平野 正広, 加藤 宗規：座位姿勢における体幹屈曲筋力および伸展筋力評価の妥当性と信頼性. 理学療法科学 2015 年 30 巻 5 号 p. 707-712

■単行本：

共著

- 1 中村学：PT 症例レポート赤ペン添削ビフォー&アフター。
羊土社 第 2 章 神経系疾患の症例レポート 2. 脳梗塞（左半球、回復期） 157-173